

## 平成 30 年度 国際委員会活動報告

### (1) 第 60 回学術集会アジア交流セッション

今年度の学会におけるアジア交流セッションのテーマは神経芽腫であった。アジア各国からの演者を学会員から推薦していただき、6名の応募があった。国際委員会委員で評価を行って集計した結果4名の演者を選出し、講演を行っていただいた。

なおアジア交流セッション開催のための予算は今回の学会で終了となり、一定の区切りがついたことから理事会の検討でいったん終了とする方針となった。

### (2) 韓国小児科学会(KPS)からの演者推薦依頼

韓国小児科学会から日本小児科学会あてに、2018年10月18-19日に開催される秋季学術集会の招待講演演者推薦の依頼が来た。小児科学会からの演者推薦の依頼に対して、下記2名を本学会として推薦し、10月18日に韓国ソウルにて講演が行われた。

日本における ALL：埼玉県立小児医療センター血液腫瘍科 康勝好

日本における造血細胞移植：大阪大学小児科 橋井佳子

### (3) SIOP 京都開催への協力

堀前委員長を中心として、SIOP 国内委員会に協力してプログラム作成等の準備、当日の運営に携わった。

### (4) WHO 小児がん Project

WHOが2018年からの取り組みとしてWGlobal Initiative for Childhood Cancerのprojectを立ち上げた。目標達成に向けて、日本小児血液・がん学会(JSPHO)としても日本小児がん研究グループ(JCCG)および国立国際医療センター(NCGM)との連携のもと、協力していく方針が確認された。今後具体的な行動に向けてWG等を組織していく方針である

(文責：埼玉小児医療センター 康 勝好)